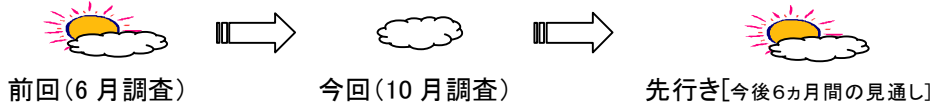




都 内 企 業 の 景 況 感

— 第 113 回企業動向調査結果 平成 24 年 10 月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は悪化、先行きは改善を期待。

- 都内中小企業の景況は、個人消費の伸び悩みや輸出の減少などの影響を受けて悪化した。自社業況判断DI*は前回の 2.4 から今回-3.6 へと 6.0 ポイント低下し、マイナスに転じた。先行きについては、0.7 と小幅ながらもプラスとなる見通し。
- 売上高DI*は、前回の 6.4 から今回-10.1 へと 16.5 ポイント、経常利益DI*は、1.7 から-5.4 へ 7.1 ポイントそれぞれ低下し、マイナスとなった。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。
- 価格DIを見ると、販売価格 DI は今回-17.5 と 4.0 ポイント低下、仕入れ価格DIは 1.7 と 10.4 ポイント低下した。先行きは、販売価格DIは上昇、仕入れ価格DIは低下する見通し。
- 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、今回 0.0 と前回の-3.0 から上昇、運転資金需要DI*は今回 4.9 と前回の 5.1 から僅かに低下した。先行きは、両DI*とも上昇する見通し。
- 金融機関借入難易感DIは、今回 17.5 と 1.7 ポイント低下し緩和感が縮小、資金繰りDIは、今回 2.4 と 0.8 ポイント低下した。
- 経営上の問題点では、「売上不振」がシェアを 18.6%に高めて、前回の 2 位から第 1 位となった。第 2 位は、前回 1 位の「同業他社との競合」で 16.6%とシェアを低めた。第 3 位は前回と同じく「人材難」で 11.7%となった。第 4 位は、前回 5 位の「取引先からの値引き要請」で 11.1%。第 5 位は、前回 4 位の「原材料高・仕入価格高」で 6.7%。第 6 位は「労働力不足・求人難」と「人件費等経費の増加」でともに 5.2%となり、前回 6 位だった「円相場変動」は 4.8%とシェアを下げて 8 位となった。

(景気指標 DI	前回	⇒	今回	⇒	先行き)
自社業況判断 DI*	2.4	⇒	-3.6	⇒	0.7
売上高 DI*	6.4	⇒	-10.1	⇒	-0.9
経常利益 DI*	1.7	⇒	-5.4	⇒	-0.3
販売価格 DI	-13.5	⇒	-17.5	⇒	-15.6
仕入れ価格 DI	12.1	⇒	1.7	⇒	-0.6
製造業製品在庫 DI*	-10.3	⇒	-6.1	⇒	...
設備資金需要 DI*	-3.0	⇒	0.0	⇒	3.5
運転資金需要 DI*	5.1	⇒	4.9	⇒	6.1
金融機関借入 難易感 DI	19.2	⇒	17.5	⇒	...
資金繰り DI	3.2	⇒	2.4	⇒	...

(経営上の問題点)	(前回%)	(今回%)
売上不振	15.9	⇒ 18.6
同業他社との競合	17.8	⇒ 16.6
人材難	11.2	⇒ 11.7
取引先からの値引き 要請	9.8	⇒ 11.1
原材料高・仕入価格 高	9.9	⇒ 6.7
労働力不足・求人難	4.3	⇒ 5.2
人件費等経費の増加	4.7	⇒ 5.2

1. DI値は、アンケート回答総数を 100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値。
2. 天気図は、自社業況判断、売上げ、経常利益、設備資金需要の 4 指標の平均値(前回 1.9、今回 -4.8、先行き 0.8)で判断したもの。
前回は「晴れ時々曇り」、今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。 4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。